

NY マーケットレポート (2015 年 11 月 18 日)

NY 市場では、序盤に発表された米住宅着工件数が市場予想を下回る結果となったものの、FOMC 議事録公開を控えて反応は限定的となった。その後、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなったが、やや上値は限定的となった。そして、FOMC の議事録では、12 月の利上げの可能性が改めて示されたことから、ドルが一段の上昇となった。しかし、利上げを検討するとの文言の追加は、事前に決まっていなかったものの、次回会合では適切になるという見解の伝達を意図したものであるとの姿勢が示されたことや、依然として先送りする意見があったこと、そして文言の変更に反対する意見があったことも明らかとなり、ドルは一転して下落するなど、上値の重い動きとなった。

2015/11/18 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	123.30	123.48	123.24
EUR/JPY	131.32	131.41	131.12
GBP/JPY	187.53	187.90	187.30
AUD/JPY	87.49	87.83	87.44
EUR/USD	1.0650	1.0658	1.0631

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	123.42	123.23
EUR/JPY	131.78	131.30
GBP/JPY	188.01	187.32
AUD/JPY	87.73	87.48
EUR/USD	1.0693	1.0649

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19649.18	+18.55
ハンセン指数	22188.26	-75.99
上海総合	3568.47	-36.33
韓国総合指数	1962.88	-0.70
豪ASX200	5133.11	+14.87
インドSENSEX指数	25482.52	-381.95
シンガポールST指数	2886.08	-30.70

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6278.97	+10.21
仏CAC40	4906.72	-30.59
独DAX	10959.95	-11.09
ST欧州600	357.70	-1.52
西IBEX35指数	10261.10	-102.70
伊FTSE MIB指数	22061.56	-217.83
南ア 全株指数	51654.54	-327.11

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	123.54	123.76	123.36
EUR/JPY	131.64	131.72	131.25
GBP/JPY	188.16	188.26	187.55
AUD/JPY	87.83	87.89	87.39
NZD/JPY	79.86	79.90	79.49
EUR/USD	1.0657	1.0675	1.0618
AUD/USD	0.7109	0.7116	0.7069

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17737.16	+247.66
S&P500	2083.58	+33.14
NASDAQ	5075.20	+89.19
日経225 (CME)	19955	+120
🇨🇦 トロント総合	13399.97	+119.58
🇧🇷 ボルサ指数	44505.59	+320.94
🇧🇷 ボベスバ指数	47435.58	+187.78

11/19 経済指標スケジュール

08:50	【日】10月貿易収支
12:00	【日】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定)
13:30	【日】9月全産業活動指数
14:30	【日】10月全国百貨店売上高
15:00	【日】10月工作機械受注
16:00	【スイス】10月貿易収支
17:30	【スウェーデン】10月失業率
18:00	【欧】9月経常収支
18:30	【英】10月小売売上高指数
20:00	【英】11月CBI企業動向調査
21:30	【欧】欧州中銀、議事要旨公表[10月22日分]
22:00	【ポーランド】10月生産者物価指数
22:00	【ポーランド】10月小売売上高
22:15	【米】南ア中銀 政策金利(時間不確定)
22:30	【米】新規失業保険申請件数
22:30	【米】失業保険継続受給者数
22:30	【カナダ】9月卸売上高
00:00	【米】10月景気先行指標総合指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1068.70	+0.10
NY 原油	40.75	+0.08
CMEコーン	368.25	+0.25
CBOT 大豆	857.75	-6.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.88%	0.86%
3年債	1.21%	1.19%
5年債	1.68%	1.66%
7年債	2.04%	2.03%
10年債	2.27%	2.27%
30年債	3.04%	3.05%

11/19 主要会議・講演・その他予定

- ・日銀総裁 定例会見
- ・アトランタ連銀総裁 講演
- ・米10年TIPS債入札

(出所:SBILM)

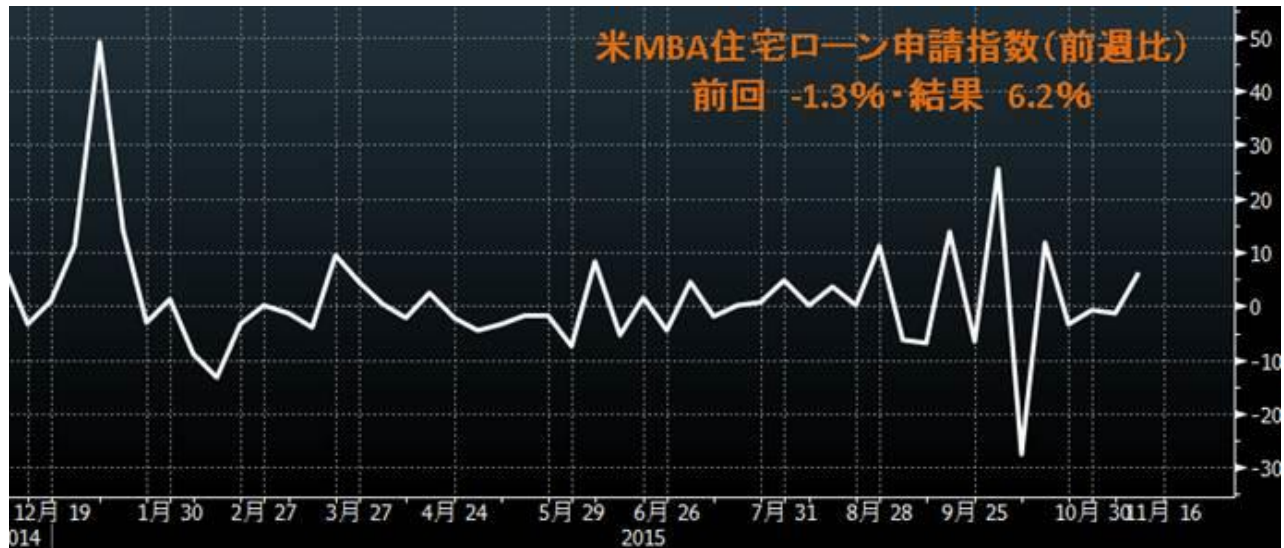
NY 市場レポート

欧州タイム

21:00

≪ 経済指標の結果 ≫

米 MBA 住宅ローン申請指数（前週比） 6.2%（前回 -1.3%）



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

≪MBA 住宅ローン申請指数≫

11/13・11/6・10/30・10/23・10/16・前年同期

申請指数・・・6.2・-1.3・-0.8・-3.5・11.8・10.9

購入・・・11.9・0.1・-0.6・-3.1・16.4・18.4

借換え・・・2.3・-2.2・-0.9・-3.8・8.8・5.6

固定金利・・・6.5・-1.2・-0.9・-3.3・12.6・11.6

変動金利・・・1.0・-2.7・0.2・-7.1・2.4・1.0

（%）

ローン契約平均金利（%）

固定金利 30 年・・・4.18・4.12・4.01・3.98・3.95

固定金利 15 年・・・3.40・3.35・3.24・3.22・3.20

22:00

ドル/円 123.40 ユーロ/円 131.62 ユーロ/ドル 1.0667

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6267.54	-1.22	ダウ 先物ミニ	17478	+22
仏 CAC40	4900.27	-37.04	S&P 500 ミニ	2051.50	2.50
独 DAX	10934.95	-36.09	NASDAQ 100 ミニ	4578.25	+8.75

(出所: SBILM)

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月ポーランド雇用（前月比） 0.3%（予想 0.1%・前回 0.1%）

10月ポーランド雇用（前年比） 1.1%（予想 1.0%・前回 1.0%）

10月ポーランド平均総賃金（前月比） 1.3%（予想 1.6%・前回 0.9%）

10月ポーランド平均総賃金（前年比） 3.3%（予想 3.6%・前回 4.1%）



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 25

《 要人発言 》

ラッカー・リッチモンド連銀総裁～CNBC とのインタビュー

- ・「米労働市場は著しく改善した」
- ・「利上げの根拠は強い」
- ・「米経済にはもっと高い実質金利が必要」

22 : 30

《 経済指標の結果 》

10 月米住宅着工件数 106 万件（予想 116.0 万件・前回 119.1 万件）
前回発表の 120.6 万件から 119.1 万件に修正

10 月米住宅着工件数（前月比） -11.0%（予想 -3.8%・前回 6.7%）
前回発表の 6.5%から 6.7%に修正

10 月米建設許可件数 115.0 万件（予想 114.7 万件・前回 110.5 万件）
前回発表の 110.3 万件から 110.5 万件に修正

10 月米建設許可件数（前月比） 4.1%（予想 3.8%・前回 -4.8%）
前回発表の-5.0%から-4.8%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《米住宅着工・許可件数》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
住宅着工件数	106.0	119.1	111.6	115.2	121.1	107.2
一戸建て住宅	72.2	74.0	73.4	75.9	68.7	69.7
集合住宅	33.8	45.1	38.2	39.3	52.4	37.5

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
許可件数	115.0	110.5	116.1	113.0	133.7	125.0
一戸建て住宅	71.1	69.4	69.9	68.0	69.2	68.1
集合住宅	43.9	41.1	46.2	45.0	64.5	56.9

前月比 (%)

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
住宅着工	-11.0	6.7	-3.1	-4.9	13.0	-9.9
住宅建設許可	4.1	-4.8	2.7	-15.5	7.0	9.6

22 : 40

《 要人発言 》

ロックハート・アトランタ連銀総裁

- ・「12 月 FOMC の結果予想は控える」
- ・「雇用市場における利上げの基準は達成された」
- ・「9 月会合で利上げを支持する用意はあった」
- ・「新たな政策段階に入るのが近く適切になる」
- ・「政策軌道は比較的ゆっくりと小幅なものになる」

22 : 45

《 要人発言 》

メスター・クリーブランド連銀総裁

- ・「経済は 25 ベーシスの利上げに対応できる」

22 : 50

《 要人発言 》

ダドリー・NY 連銀総裁

- ・「利上げは経済に対する FRB の自信を示すだろう」
- ・「FOMC が利上げできる日を待ち望んでいる」

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17559.85	+70.35
ナスダック	5005.99	+19.98

(出所: SBILM)

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) が発表した住宅ローン申請指数は、前週比+6.2%となり、4 週間ぶりにプラスとなった。構成指数では、購入指数が+11.9% (前週+0.1%)、借り換え指数は+2.3% (-2.2%) となった。30 年固定金利型の住宅ローン金利は 4.18% (4.12%)、15 年固定金利型の住宅ローン金利は 3.40% (3.35%)。また、申請全体に占める借り換えの割合は 58.6% (59.8%) だった。

(2) 10 月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-11.0%の 106.0 万件となり、2 ヶ月ぶりのマイナスとなった。また、今年 2 月以来 8 ヶ月ぶりの大きな下落率だった。前年同月比では-1.8%。集合住宅が大きく減ったほか、主力の一戸建て住宅も減少となったことで、全体を押し下げる結果となった。ただ、堅調さの目安とされる 100 万件は 7 ヶ月連続で維持された。

①着工件数では、一戸建て住宅が前月比-2.4%の 72.2 万件、それ以外の集合住宅は-25.1%の 33.8 万件だった。

②地域別では、北東部が+10.2%、中西部が+15.0%、西部は-16.2%、最大市場の南部は-18.6%。

③着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比+4.1%の 115 万件となり、2 ヶ月ぶりに増加した。前年同月比では+2.7%となった。

0 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、やや新規材料に乏しい中、原油価格が上昇したことを受けて、石油関連銘柄の収益改善を期待した買いが入るなど、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、FOMC 議事録公開を控えてやや限定的な動きとなっている。

0 : 32

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・25.2 万バレル増加
ガソリン在庫・・・101 万バレル増加
留出油在庫・・・79.1 万バレル減少

《欧州のポイント》

①スウェーデン中銀副総裁は、為替相場への介入の可能性はあるものの、実施する段階にはほど遠いとの認識を示した。金融政策は効果を表しているとし、市場に大きな混乱をもたらしていないとの考えを示した。また、必要ならレボ金利を一段と引き下げることが可能だと述べた。スウェーデンクローナについては、現在若干過小評価されているとの見方を示した。

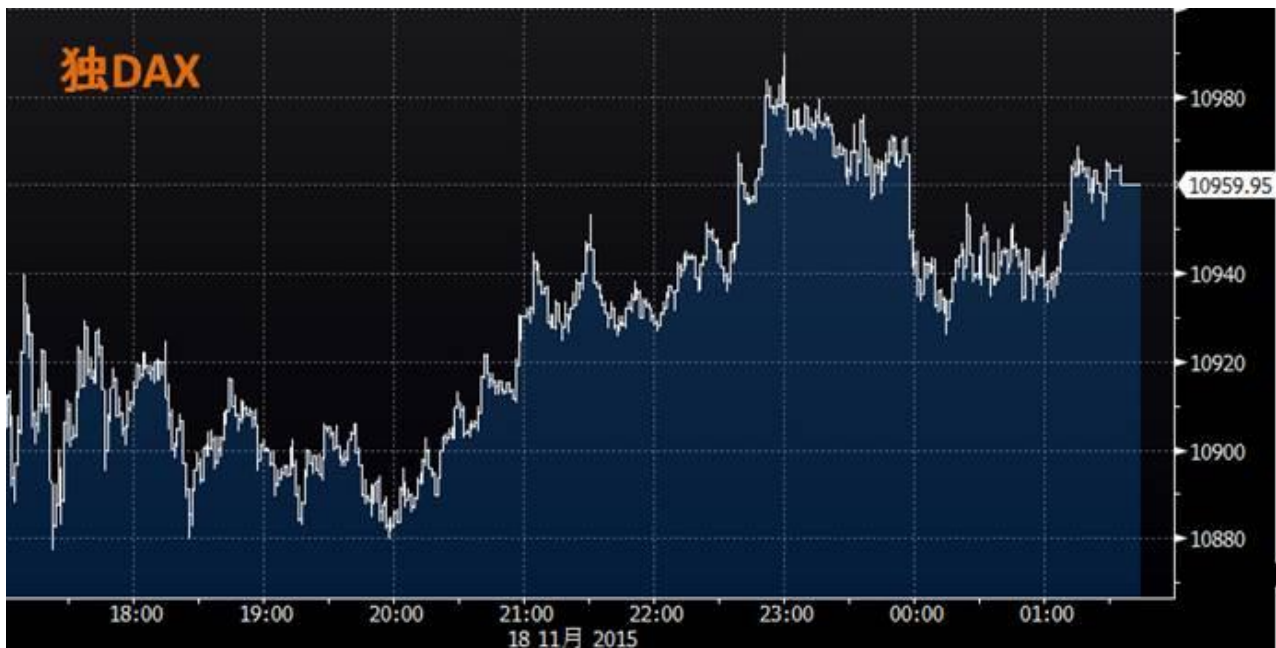
②英中銀副総裁は、金融市場が織り込む中銀利上げ時期は誤解を招く恐れがあるほか、急激に変化するリスクがあるとの見方を示した。また、投資家に対し、英中銀のインフレ見通しに「執拗に注目」しすぎないように警告した上で、成長を促す幅広い要因に目を配るべきだと指摘した。副総裁は、現在の市場のイールドカーブはかなりフラットだと指摘。それらが示唆する最初の利上げ時期は突然の動きに左右されやすくなっているとした。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6278.97	+10.21
仏 CAC40	4906.72	-30.59
独 DAX	10959.95	-11.09
ストック欧州 600 指数	357.70	-1.52
ユーロファースト 300 指数	1495.83	-2.58
スペイン IBEX35 指数	10261.10	-102.70
イタリア FTSE MIB 指数	22091.56	-217.83
南ア アフリカ全株指数	51654.54	-327.11

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。テロ警戒感が強まったとの思惑から神経質な動きとなった。また、米 FOMC 議事録の公表を控えて様子見ムードも強く、限定的な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17617.17 (+127.67)、S&P500 2067.50 (+17.06) ナスダック 5028.61 (+42.59)

2:00

《 要人発言 》

カプラン・ダラス連銀総裁～就任後初めて公に発言

- ・「緩和的な政策は必ずしもFF金利目標0%ではない」
- ・「長過ぎるゼロ金利維持は投資を歪めかねない」
- ・「しばらくは緩和的な政策を維持するのが適切」

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、10月分の米FOMC議事録の公表を午後に控えて警戒感が広がり、売りが先行した。アトランタ連銀のロックハート総裁が「まもなくゼロ金利を解除することに異論はない」と述べたことも12月の米利上げ観測を強め、相場を圧迫した。

午前の利回りは、30年債が3.06%（前日3.05%）、10年債が2.29%（2.27%）、7年債が2.05%（2.03%）、5年債が1.69%（1.65%）、3年債が1.22%（1.19%）、2年債が0.88%（0.86%）。

4:00

《FOMC 議事要旨》

- ・「メンバーは、12月利上げは適切との意思伝達を望んだ」
- ・「段階的な緩解除で大部分の当局者が合意」
- ・「予期せぬショックがなければ12月利上げにオープン」
- ・「大半の当局者は12月までに利上げの条件が整うと判断」
- ・「12月利上げ示唆する文言変更が強過ぎると2人が懸念を表明」
- ・「一部の高官は12月までに利上げ条件整う可能性低いと指摘」

- ・「大半の当局者は海外からのリスクが弱まったと判断」
- ・「幾人かの当局者は利上げ先送りを回避する理由を指摘」
- ・「実際の判断は今後の指標が示す中期の経済見通し次第」

・「利上げを検討するとの文言の追加は、事前に決まっていなかったものの、次回会合で正常化プロセスを開始するのが恐らく適切になるという見解の伝達を意図したものである」

4 : 40

NY 金は、中心限月が前日比 0.10 ドル高の 1 オンス＝1068.70 ドルで取引を終了した。

5 : 30

NY 原油は、中心限月が前日 0.08 ドル高の 1 バレル＝40.75 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1068.70	+0.10
NY 原油	40.75	+0.08

(出所：SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

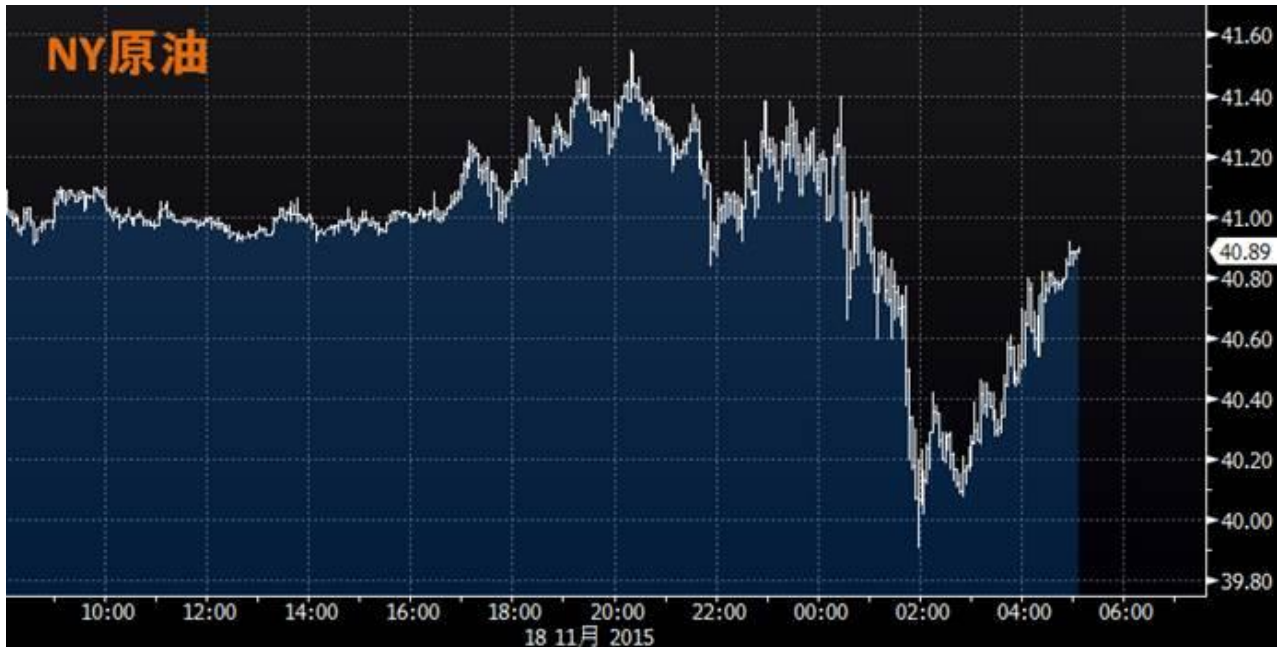
NY 金は、10 月分の米 FOMC 議事録の公表を控えて様子見ムードが広がり、もみ合い圏で推移した。通常取引終了後の時間外では、FOMC 議事録の公表を受けてドルがユーロなどに対し弱含んで推移したのにつれて、ドルの代替資産とされる金を買われる場面もあった。



(出所：ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米石油統計で原油在庫が8週連続で増加したことに加え、WTI原油の引き渡し地点となるオクラホマ州クッシングの在庫も増えたことから供給過剰感が強まり、売りが優勢となった。ただ、米FOMC議事録の公表後に米国株が一段高となり、引けにかけては買い戻しが入った。



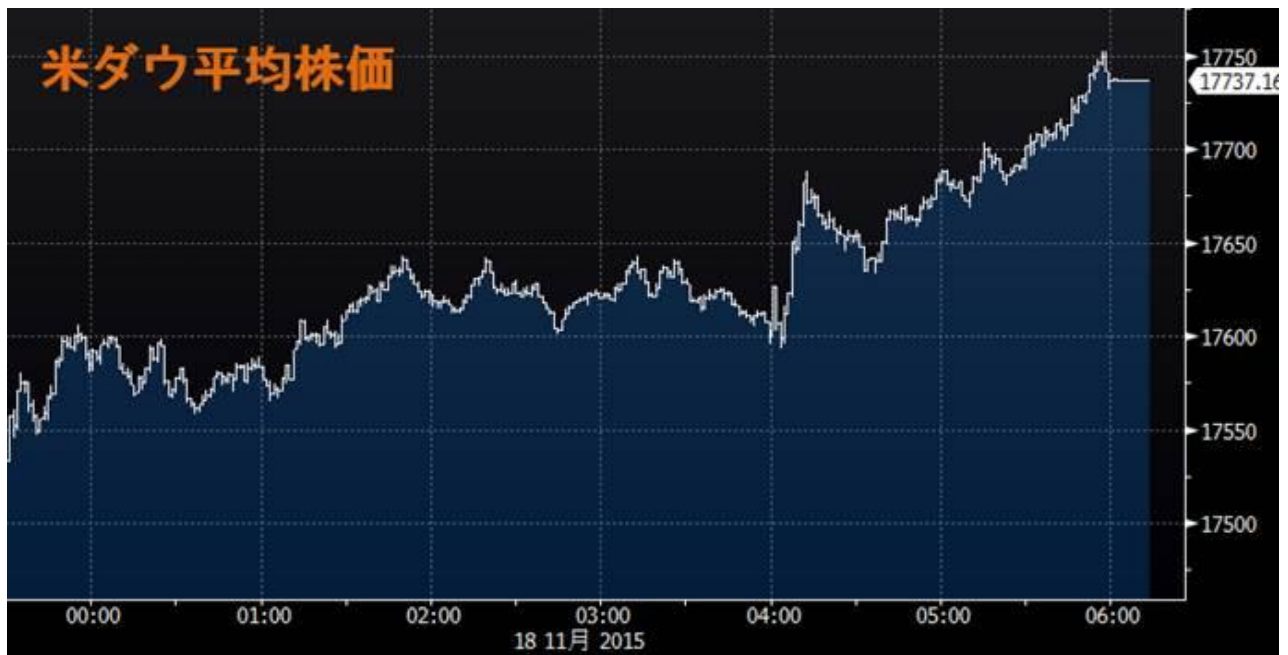
（出所：ブルームバーグ）

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17737.16	+247.66	17752.16	17485.49
S&P500 種	2083.58	+33.14	2085.31	2051.99
ナスダック	5075.20	+89.19	5078.80	5001.67

（出所：SBILM）

《 米株式市場 》

米株式市場は、やや新規材料に乏しい中、原油価格が上昇したことを受けて、石油関連銘柄の収益改善を期待した買いが入るなど、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、FOMC議事録公開を控えて値動きはやや限定的な動きとなった。そして、FOMC議事録を受けて、年内利上げ期待に対する懸念も高まり、引けにかけて大きく上昇する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、終盤には262ドル高まで上昇する動きとなった。



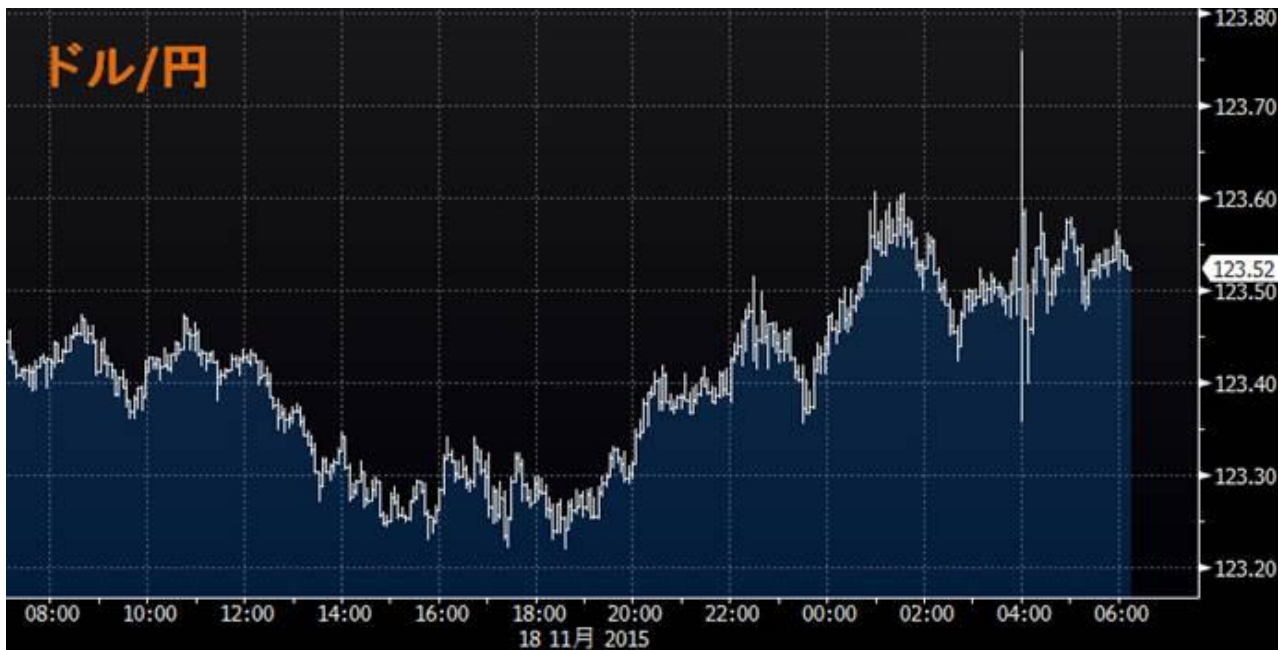
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	123.54	123.76	123.36
EUR/JPY	131.64	131.72	131.25
GBP/JPY	188.16	188.26	187.55
AUD/JPY	87.83	87.89	87.39
NZD/JPY	79.86	79.90	79.49
EUR/USD	1.0657	1.0675	1.0618
AUD/USD	0.7109	0.7116	0.7069

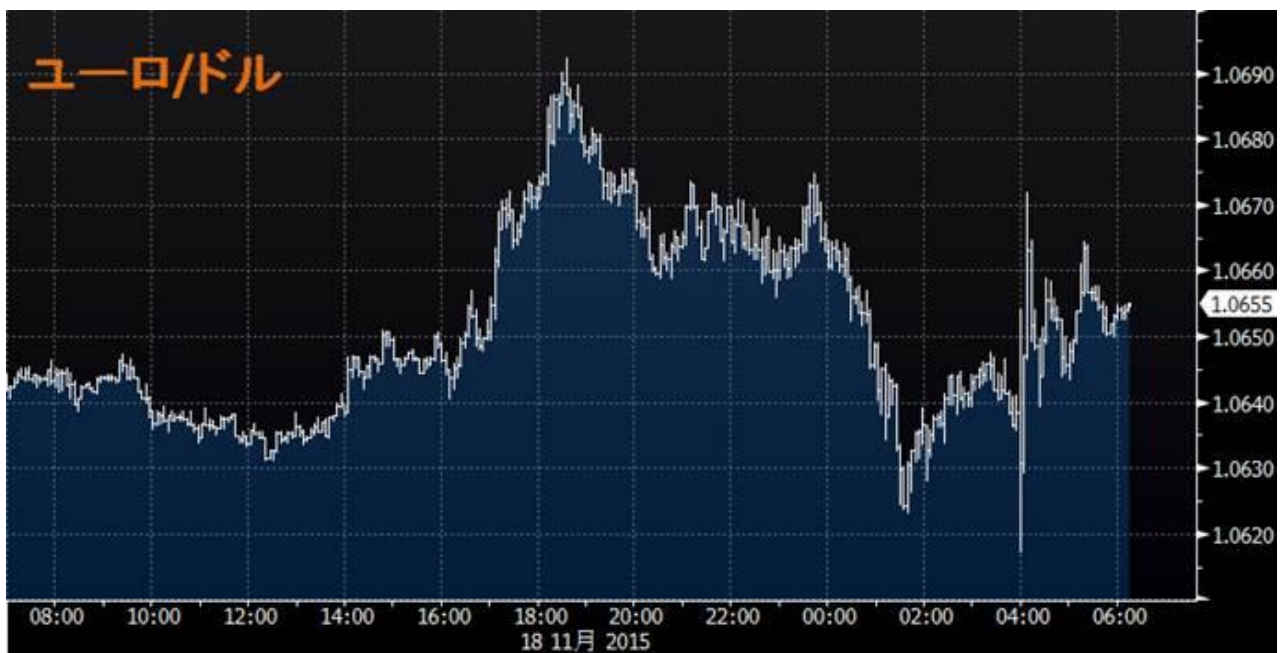
(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米住宅関連の経済指標が市場予想を下回る結果となったものの、FOMC 議事録公開を控えてやや楽観的な見方もあり、ドルは堅調な動きとなった。そして、FOMC では 12 月の利上げの可能性が示されたことから一時ドルが上昇したものの、依然として経済見通し次第との条件が示されていたことから、反落するなど上値の重い動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。